

令和 7 年度予算関連

農林委員長としての活動報告

夏場の高温は“想定外”

昨年の日本の平均気温は、1898年の統計開始以降、最も高い値でありました。昨年の岐阜県では、6月から8月の3か月の**猛暑日はなんと35日**で、平均値から+19.1日と激増し、県内の農作物等への影響が顕在化しました。

昨年9月末、揖斐郡内における（花き・蕎麦）生産者のハウスや畑にて、ハスモンヨトウによる農業被害の現場を視察させていただきました。また、大野町は岐阜県を代表する柿の産地であります。生育期間を通じた高温によるカメムシの多発や日焼け果の発生、果実の着色不良等により、出荷量は減少し、贈答用にも遅れがでるなど大変な被害が発生いたしました。[令和6年における富有柿の共販出荷量は前年比**24%減少**し1,080t]そこで本年1月、岐阜県議会農林委員会では、閉会中ではありましたが、**高温化等気候変動による農作物への影響と課題**についても執行部と協議いたしました。

令和7年度の当初予算において、下記のように、**想定外の高温等への対策として事業費125,057千円**が事業化されました。



カメムシの吸汁被害



ハスモンヨトウの食害

想定外の高温等への対策 事業費 125,057 千円

事業概要

(1) 想定外の高温に対する適応技術開発及び生産転換支援 (28,488 千円)

- 生育障害や病害虫被害などを回避する栽培技術の開発や、気候変動に強い品種を育成するとともに、産地単位で行う高温耐性品種の導入や高温への適応技術の実証にむけた取り組みを支援する。

補助対象者：生産者組織、法人、農業協同組合等 補助率等：実証試験に係る経費の1/2以内、上限500千円

(2) 想定外の高温対策に必要な設備等への支援 (30,000 千円)

- 生産対策に必要な設備や資材の導入、生産対策と一体的に行う生産者の身体的負担軽減を図る取り組みを支援する。

補助対象者：生産者組織、農業協同組合等

〔生産対策への支援〕補助率等：1/3以内（遮熱資材、予冷库、細霧冷房装置等）

〔身体的負担軽減を図る取り組みへの支援〕補助率等：1/3以内、上限100千円/件（ファンベスト等）

(3) 高温対策の研究・研修拠点の充実 (66,569 千円)

- 中山間地域における水稻や園芸品目の高温対策の技術開発拠点を整備するとともに、農業大学校・就農支援センターにおける高温に対応した教育環境の充実を図る。



「ぎふ木育」の全県展開9,287千円 揖斐川町に支援

揖斐川町が新たに整備を推進している「ぎふ木遊館サテライト施設」に対する支援も予算化されました。「ぎふ木育」の全県展開(9,287千円)の内 揖斐川町に対する支援額**1,667千円**

料金別納

タウンプラス

揖斐郡の皆様へ

県政報告在中

GIFU
KENSEI
NEWS

BREAK THROUGH

岐阜県議会議員 国枝慎太郎 岐阜県政ニュース

岐阜県議会議員
国枝慎太郎
2025.3 Vol.34
県政報告
通信

江崎 禎英 県政がスタート。

政策テーマ「安心と挑戦の岐阜県：共に未来を創る場所」

若者や女性の流出が止まらず、人口減少が深刻化する現状を転換し、「安心」と「ワクワク」に溢れ、「人やモノが集まる岐阜県」を創る。

令和7年 第1回岐阜県議会定例会において、政策テーマを実現するための江崎カラー予算204億円を含む9,020億円の一般会計予算が提案されました。

今回の県政報告では、一般質問の内容をはじめ、揖斐郡における活動を中心に報告させていただきます。



令和7年3月12日 第1回岐阜県議会定例会にて、一般質問に登壇。
今回は、下記の内容について4項目を問う！

質問 1. 江崎新知事が描く「アグリパーク構想」について

質問 2. 子ども若者の命を守る取り組みについて

- 若者の自殺の要因分析と対策について問う。
- 子どもの一時保護施設の不足に対する課題認識と今後の方向性について問う。

質問 3. メリハリのある予算編成ができる仕組みづくりについて

- 県民にとって本当に必要な予算が置き去りになりかねないよう、江崎新体制における予算編成の仕組みを問う。

質問 4. 避難所として指定された県有施設における浄化槽の災害時の活用について

岐阜県議会議員 国枝慎太郎事務所

〒501-0532 岐阜県揖斐郡大野町下磯 521-2 杉原ビル 2F
TEL.0585-32-1003 FAX.0585-52-9307

公式ホームページ URL k-shintaro.com
E-mail shintaro.k1229@gmail.com

日々の県政情報や活動は下記の公式サイトでもチェックできます。

Facebook



Instagram



LINE



令和7年3月12日

第1回岐阜県議会定例会にて、一般質問に登壇。

BREAK THROUGH

質問2 項目め
メインテーマ

「子ども若者の命を守る取り組みについて」(質問の背景)

(1) 若者の自殺の要因分析とその対策について問う

若者の自殺者増加傾向

今年 1 月 29 日に厚生労働省が発表した 2024 年の全国の自殺者数（暫定値）は 2 万 268 人と統計開始以来 2 番目に少ない一方で、**小・中・高校生は 527 人と過去最多**という報道がありました。**小学生 15 人、中学生 163 人、高校生 349 人**とのことです。

さらに、未来ある子どもたちが、自ら未来を閉じ、死を選ぶ子どもが増えている社会は、江崎知事も言っている**世界から憧れる国**とは程遠い社会であります。岐阜県における 10～19 歳の死亡者数に占める自殺者数は下記の表のように推移しております。

成熟する国家を迎えつつあり、人口減少社会において、自ら死を選ばなければならない方がこの日本で未だ2万人を超えている社会。

江崎知事の目標でもある、不登校の児童支援も含め若者の自殺死亡者0を目標に江崎県政では取り組んでいただきたく質問させていただきました。

	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
自殺死亡数	309	308	355
死亡総数	24,126	26,175	26,089

	令和3年	令和4年	令和5年
自殺死亡数	9	7	14
死亡総数	26	20	28
自殺死亡割合	34.6%	35%	50%

(2) 子どもの一時保護施設の不足に対する課題認識と今後の方向性について問う

※
近年、児童虐待相談対応件数の増加に伴い、**一時保護**を要する子どもも増加しています。令和5年度の県内の一時保護児童数は**504名**です。今後、一時保護数は右肩上がりが増加し、令和11年には**648人**となると岐阜県も予測しています。

しかし、岐阜県の一時保護施設の定員は、岐阜市にある中央子ども相談センター **定員 30人 実質定員 22人**、高山市にある飛騨子ども相談センター **定員 6人 実質定員 3人**となっています。

全国順位で申し上げますと、定員は**全国 43位** 実質定員に置き換えると**全国 46位**の状況にあります。

そこで、岐阜県では現在、県内の乳児院 2施設・児童養護施設 10施設をはじめとした各種入所施設などに委託をし、一時保護の受け入れ先としての役割を担っていただいております。

しかし、現在国において、児童養護施設を家庭に近い生活スタイルに**小規模化**するとともに、**里親制度の推奨**に舵をきっております。

その結果、乳児院児童養護施設の**定員と空き**（一時保護で使用できる）が減少しています。平成 30 年当時の定員 612 人から **130 人減り**令和 5 年の定員は **482 人**。施設の空きも平成 30 年には 112 人でしたが令和 5 年の空きは **53 人**まで減少しています。

未来ある子ども達の命・人権を守ることにつながる一時保護施設の確保は、岐阜県における喫緊の課題と認識し、質問させていただきました。

※一時保護とは、
こどもの安全を迅速に確保し、こどもの心身の状況、置かれている環境などの状況
を把握するために行います。

揖斐郡内の活動報告 揖斐川町(予算関連) 令和7年度当初予算

鳥獣害対策の推進 事業費 851,849 千円

新たにニホンザル対策として、各種団体による創意あふれるアイデアを募集し、提案された活動を支援する事業をはじめ、**揖斐川町伊吹山周辺地域を含め、ニホンジカの生息密度が著しく増加している特別区域に設定し、ニホンジカの個体数抑制にむけた捕獲活動を支援する事業も予算化されました。**

「揖斐川町伊吹山周辺地域が特別区域」に指定

捕獲単価：一般補助率：15,000円（定額）→補助限度額：特別区域 20,000円/頭
特別区域の捕獲上限頭数：220頭/年（伊吹山麓 200頭、乗鞍山麓 20頭）
特別区域に係る予算額：4,400千円

揖斐郡内の活動報告 大野町 （主要地方道 岐阜関ヶ原線 下礮交差点 右折レーン延長工事完了）



右折レーン延長

朝夕の交通渋滞により、町道が抜け道となりつつあり、近隣地域の皆さまからも不安の声をいただいております。

地域の皆さまや大野町と共に岐阜関ヶ原線の右折レーンの延長や南北路線の岐阜県南大野町における路線標識設置を要望し、工事が終了しました。



国道303号のバイパス路線となる（都）大野揖斐川線が令和7年3月末には供用開始予定。都市計画道路から大野町立東小学校への南路線について、半年遅れで供用開始予定。北路線については、1年遅れで供用開始予定。新たな交差点には交差点工事終了と共に新年度信号機の設置を要望。

揖斐郡内の活動報告 池田町



※大垣土木管内での橋梁改築は赤坂大橋に続き今後、赤坂新橋、久太橋、野田橋。
堰改築は宇留生堰、無名堰の2箇所。
揖斐土木管内においては、橋梁改築が井ノ口橋、夫婦橋。
堰改築は無名堰の1箇所。



池田町 杭瀬川

昨年7月の豪雨により護岸等が被災した池田町を流れる杭瀬川。昨年11月の災害査定によって**約5億円**の予算が認められ、現在、災害復旧工事が着手されております。

また、今年1月9日には、杭瀬川の治水と自然環境を守る会の皆さまと**大垣土木事務所**と**揖斐土木事務所**に対し、河川改修の促進にむけ要望。赤坂大橋架替工事も視察させていただきました。

一般県道 霞間ヶ溪線 (池田町池野地内)

桜のシーズンには多くの皆さまが訪れる霞間ヶ溪に続く県道において、既設側溝蓋の「破損」「蓋の落ち込み」「がたつきによる騒音」に対し、地元より要望があり、岐阜県と共に調査し、令和7年度にむけ予算要望いたしました。

揖斐郡内の活動報告 揖斐川町



三町大橋（揖斐川町側）

県道本庄揖斐川線と池田揖斐川大野線の交差点においては、本庄揖斐川線の供用開始以降、歩行者・車を運転する方々から交差点通行に対する苦情も多く、現実的に交通事故が何度も起きていました。

揖斐川町・自治会・学校・道路管理者・県警等とも協議をし、新年度の信号設置にむけ要望。